

令和元年度(2019年度) 松本美須々ヶ丘高等学校 学校自己評価表

I 教育目標 評価は、A(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

学校教育目標	総合評価	次年度への課題
1 基礎的知識・技能の習得及び健康・体力の増進 2 自主・自律の精神及び豊かな情操・知性の育成 3 地域との連携による幅広い人間性の涵養 4 民主的で平和な国家・社会を形成する主権者の育成		
令和元年度(2019年度) 重点目標 (平成30年度～令和4年度 中期目標)		
(1) 「大学入学共通テスト」に対応する丁寧な教科指導と進路体制の充実により、それぞれの生徒の進路実現を保証する。 (2) 学習活動・課外活動・部活動など多くの場面で、課題を発見し、その解決のために生徒自らが目標を設定し、主体的・意欲的に学び、取り組む姿勢を育成する。 (3) 広く地域や国際社会に目を向けさせ、校外でも積極的に活動することで、社会性やコミュニケーション能力を高めさせるとともに、地域の期待に応える「地域の中の学校」づくりを進める。 (4) 必要な学習環境の整備を行い、積極的に情報を発信することで、家庭との連携を図り、複雑化する社会・家庭環境に柔軟に対応できる安心安全な(体罰やいじめなどのない)学校づくりを進める。 (5) 「言語活動」を充実させ、的確な言葉を用いて、論理的かつ自由に思考し表現しながら、異なる他者や多様な立場を理解できる多角的な視野と品格を育む。		

II 今年度重点目標(部署別) 評価は、A(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

部	中期目標	評価項目(重点目標)	評価の観点(具体的な取り組み)	自己評価	成果と課題・改善策
教務	(1) (2) (3) (4)	①授業や諸行事、会議等が円滑に行われるように努めると共に、それに伴う諸問題の調整を行う。 ②各分掌や学年と密に連絡を取り合う。 ③今年度以降の様々な改定による諸課題に迅速に対応するよう努める。 ④安心して通える学校作りを努める。	・諸行事の計画は適切であったか。 ・公開授業、体験入学、webページの更新、中学校訪問、連絡メール配信などが効果的に行われたか。 ・校内研修の充実を図れたか。 ・会議の効率化が図れたか。 ・55分授業や特曜日の課題を把握し、次年度の年間行事予定に反映できたか。 ・防災計画を迅速に立案し、それに基づく安全管理が適切に行われたか。		
進路指導	(1) (2) (1) (2) (1) (4)	①生徒が各自の能力・適性を的確に把握し、主体的に自らの在り方生き方を考えて進路を選択できるように、あらゆる教育活動とあわせて、計画的・組織的な指導を展開する。 ②「予習→授業→復習」の学習習慣の定着を図る。Classiの研究と活用を推進し、家庭での学習習慣の定着に努める。 ③生徒の進路選択に関わる情報や模擬試験データを職員間で共有し、教科会等に対して指導に関する助言・協力を求める。同時に「高大接続改革」に関する情報収集に努め、職員間で情報共有を図る。 ④進路指導に活用できる情報・資料を収集し、生徒・保護者及び職員に発信する。	・個人面談、学年集会、「進路の日」、「総合的な探究(学習)の時間」等の企画運営を通じて、生徒の進路意識を高め、進路ガイダンス機能の充実を図ることができたか。 ・各学年の進路指導計画を遂行することができたか。 学習動画・webドリル等を定期的に配信できたか。また、学習時間調査を実施し、平日家庭学習時間1時間30分以上を達成できたか。 ・定点観測模試結果の傾向を分析し、職員会へ報告したか。また、教科会にデータ分析を依頼し、生徒へのフィードバックを図ることができたか。 ・各種研究会への参加や大学訪問等を通じて、高大接続改革に関する情報収集を行い教員間で共有できたか。 各学年の進路通信(学年通信)を発行できたか。		
生活指導	(3) (4)	①生徒に基本的な生活習慣を確立させる。 ②生徒とのコミュニケーションや家庭との連携を大切に信頼関係を築く。 ③些細な情報でも職員同士が共有し、初期対応を適切に行い、いじめや体罰のない学校作りを進める。	①社会や学校のルールを遵守させることができたか。 ②HR指導、頭髮指導、立ち番指導、巡視指導、挨拶運動などを実施し、また、匿名性のアンケートを用いて的確に対応できたか。 ③各学年会をはじめ、関係機関と緊密に情報共有し指導できたか。		
生徒会	(2) (3) (4) (5)	①他者と協力して諸問題を解決しようとする主体的、実践的な姿勢を育む。 ②集団や社会の一員としての自覚を深め、保護者・地域との連携をはかる。 ③健全で自由で活発な生徒会活動や部活動を推進する。 ④相互に尊重し、友情を深めるとともに、規律を遵守し、共同生活の発展に尽くす姿勢を涵養する。	①主体的、実践的に取り組ませることができたか。 ②保護者・地域との積極的な連携がはかれたか。 ③健全で自由で活発な生徒会活動や部活動を実現できたか。 ④多角的視野を持ち、他者を尊重することのできる人材を育成できたか。		

部	中期 目標	評価項目(重点目標)	評価の観点(具体的な取り組み)	自己 評価	成果と課題・改善策
情報 処理	(4)	①使いやすさとセキュリティの高さという相反する目的を達成するため常時ネットワークの運用管理に心を配る。	・使いやすさの為に日々更新される新しい知識を理解習得し応用する。 ・年1回を目標に職員向けの校内セキュリティ講習を実施し、セキュリティ意識・技術の向上をはかる。		
清 美	(2) (4)	①清美委員会と協力し、ゴミの分別・可燃ゴミの削減のために生徒自らが主体的・意欲的に取り組む姿勢を育成する。 ②職員・生徒の清掃に対する意識を高め、清潔で気持ちのよい学習環境を整えられるよう適切な清掃活動を計画する。	・資源ゴミの分別徹底により、可燃ゴミの削減ができたか。 ・ゴミ回収、大掃除、ワックスがけなどの清掃計画は適切であったか。 ・校舎内外の清掃はきちんと行われていたか。		
図 書 視 聴 覚	(2) (4)	①生徒の主体的、意欲的な学びに役立つ図書館の蔵書や視聴覚教材・機器等を部で検討し、備える ②ICT機器導入を踏まえ、授業におけるICT機器活用方法について研究を進める。	・生徒の主体的、意欲的な学びを支援する教材・機器等を備えることができたか。 ・授業におけるICT機器活用に関する研修に参加する等、研究を進めることができたか。		
保 健 教 育 相 談	(2) (4)	①生徒が様々な活動に、主体的・意欲的に取り組むために、生徒の心身の健康を維持できるよう、支援体制を整える。 ②成長過程での様々な問題を抱えている生徒を、早期に把握し、体や心の悩みに寄り添い、家庭や外部機関とも連携していく。	・生徒の心身の健康を維持するために、生徒の状況を把握し、情報を共有し、チーム支援の体制をとることができたか。 ・問題を抱えている生徒の悩みに寄り添い、家庭や外部機関と連携し、支援につなげることができたか。		
渉 外	(3) (4)	①地区PTAに関すること。 ・地区の合併を進める。 ・参加者を増やす工夫、働きかけをする。 ・保護者の意見を吸い上げ、職員へ伝達する。 ②学校と保護者・同窓会と連携を図り、PTA活動の企画・運営を行う。	・地区PTAにおいて、合併への検討を進めることができたか。参加率は向上したか。保護者の意見や要望について、関係部署での検討を依頼し、学校運営に役立てることができたか。 ・PTA活動の企画・運営は適切であったか。		
総 合	(1) (2) (3) (5)	①各教科・科目、特別活動等で学習した知識や技能を総合的に活用し深化させる。 ②学校生活や地域社会の中から、自ら課題を見つけ解決する能力を育成する。 ③主体的かつ探究的に学ぶとする意欲や態度を育成する。	・様々な学習活動を通して生徒が社会とのつながりや生き方について考える機会になったか。 ・外部との連携による様々な学習活動を取り入れることができたか。 ・生徒が主体となった探究的な学びを充実させることができたか。		
学年	中期 目標	評価項目(重点目標)	評価の観点	自己 評価	成果と課題・改善策
1 学 年	(1) (4) (5)	①基本的な生活習慣を確立し、家庭学習も含め継続的な学習を身につけるよう指導する。 ②生徒が安心して学校生活を送り、より良い人間関係を築き安定できるよう丁寧に対応する。 ③探究型学習など新たな取り組みを積極的に取り入れ導入していく。	①スケジュールを立て計画的な学習活動ができるよう手帳等を利用して指導できたか。 ②生徒の状態を丁寧に把握するため個人面談が実施できたか。 ③「総合的な探究の時間」有効に活用できたか。		
2 学 年	(1) (4) (5)	①生徒が安心して学校生活を送り、より良い人間関係を築き安定した状態で学習に打ち込めるようにする。 ②入試改革に向け各自が積極的かつ詳細にわたる進路選択を行えるようにする。	①各生徒の身体面・精神面の状況把握ができるような個人面談が実施できたか。 ②進路に関する適切な刺激を与えアンケート等のチェックにより詳細にわたることができたか。		
3 学 年	(2) (4) (5)	①生徒が安心して安全に生活できるように、環境整備に努め、個々の生徒に丁寧に対応する。 ②それぞれの生徒の進路希望を把握し、生徒・保護者に進路情報を提供しながら、学年全体で進路実現に向けて支援していく。	・学習環境整備のために、清掃等の指導をしっかり行ったか。 ・生徒が安心して学校生活が送れるように、生徒の悩みや進路相談のための個人面談を実施したか。 ・生徒、保護者と情報を共有するために、学年通信を発行したか。 ・LHR、総合的学習の時間を使い、論理的に物事を考え、仲間と意見を交換し合い自分の考えをまとめていく活動ができたか。 ・進路実現に向けて学習の動機付けとなるように補習や、学習合宿を企画し実行できたか。		

教科	中期目標	評価項目(重点目標)	評価の観点	自己評価	成果と課題・改善策
国語	(1) (2) (4) (5)	①論理的思考力を高めるとともに、自らの考えを的確に表現し、他者の意見を的確に捉えることのできる力を育てる。 ②教員と生徒、また生徒同士が活発にコミュニケーションできる場を増やし、生徒自らが主体的に問題をとらえ、その解決策をわがこととして考える姿勢を作る。 ③指導要領の改訂を視野に入れて、探求的活動を取り入れた授業展開について研究する。	・目標達成に資する適切な教材を設定することができたか。 ・授業に関わる情報交換をしつつ、教員同士が互いの授業を参観するなどして、授業力向上を図れたか。 ・考査に論述問題を取り入れることで、新テストも見据えた論述力養成の効果が表れた ・漢字や古文単語などの小テストを通じて、語彙力の定着を図ることができたか。 ・単元のまとめ等で、話し合いや対話を通じて各人の考えを発表することができたか。 ・「辞書作り」「助動詞かるた競技」「古典作品群読」など、生徒が能動的に授業に参加する場を増やすことができたか。 ・作文、小論文、レポート作成等を定期的に取り入れ、各自の思考を書いてまとめる力の向上を図れたか。		
地歴公民	(1) (3) (5)	①現代社会、政治経済など公民の授業で、主権者教育を通して広く地域や社会に目を向けさせる。 ②世界と日本の歴史・地理を学ぶ中で、他文化を理解し尊重していく姿勢を身につけさせる。 ③指導要領の改訂をにらみ、探求的活動を取り入れた授業展開について研究する。	・学年と連携して、外部団体(選管)の協力を得て、主権者教育を行うことができたか。 ・定期考査などをとおして知識の定着と理解が図れたか。 ・探求的活動を、授業に取り入れることができたか。		
数学	(1) (2) (5)	①計算力を中心に、教科の基礎学力の定着と、応用力の充実を目指す。 ②論理的な思考力・判断力とともに、「言語」による表現・伝達ができる能力の育成を目指す。	・論理的な思考の手順を、解説や板書等で的確に説明することができたか。 ・提出課題、考査等で生徒自らの論理的思考を明確に記述することができたか。		
理科	(1) (2)	①自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけるようにする。 ②観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ③自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	①自然の事物・現象についての理解を深められたかどうか。科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけられたかどうか。 ②観察、実験などを行い、科学的に探究する力が身についたかどうか。 ③自然の事物・現象に主体的に関わることであったかどうか。科学的に探究しようとする態度が身についたかどうか。		
外国語	(1) (5)	①英語の基礎となる単語、熟語、構文、文法などを定着させる。 ②生徒の能動的な活動を通じて、4技能とともに思考力やコミュニケーション能力を育てる。	・生徒の実態や目標に応じて適切な教材や学習方法を示し、学力定着の工夫ができたか。 ・生徒に活動させる機会や課題を与え、適切な助言や指導ができたか。		
芸術	(2) (3)	①芸術の授業を通して、生徒が自ら目標を設定し、意欲的に自己表現する姿勢を育成する。 ②国内外の様々な芸術文化に関心を持ち、それぞれの芸術文化を尊重する姿勢を育成する。	・生徒が様々な芸術文化に興味関心を持ち意欲的に取り組める教材設定ができたか。 ・生徒個々の能力を見極め、意欲的に課題に取り組めるための生徒支援ができたか。		
保健体育	(2) (3)	①知識を深め、技能・体力を向上させることで、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツにつながる資質や能力を身につける。 ②健康の保持増進のための知識や実践力を身につけ、明るく豊かなで活力のある生活を営む態度を育てる。	・適切な服装、時間やルール等を遵守させ、集団行動の意義や、自分及び仲間の安全、楽しさを意識させることが出来たか、また安全管理は適切であったか。 ・運動量は確保できたか。 ・身近な話題に触れることで、興味関心を引き出し、日常生活及び今後の実践につながるような内容を提示できたか。		
家庭	(2) (5)	①多様化する家族・家庭や社会の現状を知り、自らの生き方をデザインしようとする姿勢を育成する。 ②成年年齢の18歳引き下げに向け、消費生活について関心を持ち、適切な意思決定や消費行動について考え行動できる態度を養う。 ③「持続可能な社会」の実現に向けて自分の生活を振り返り、自らの課題を発見し、解決していくための考える力をつける。	・身の回りの出来事に関連するニュースに興味を持たせ、社会の現状を知り、自分の生活と関連づけて考えさせることができたか。 ・消費をめぐるトラブルに直面した場合、社会的な手段も利用しながら、それを解決する方法を身につけさせるための適切な指導、助言ができたか。 ・生活を巡る様々な問題に関心を持たせ、学習で得た知識・技術を活用した学習活動を充実させることができたか。		
情報	(5)	①情報モラルについての基礎基本を定着させる。 ②ワード、エクセル、パワーポイントの基礎的操作を習得させる。	・基礎的な知識理解ができているかどうか。 ・基礎的な技能の習得ができているかどうか。		